**競技注意事項**

**1. 競技規則について**

　本大会は、２０１３年度(公財)日本陸上競技連盟規則並びに本大会の申し合わせ事項により実施する。

**2.練習会場について**

(1)練習は練習日程及び時刻表に従い実施すること。

(2)主競技場内での練習は、競技役員の指示で、その他の会場については、練習会場係の指示に従うこと。特に投てき練習については、監督の付き添いのもと事故の防止に努めること。

**3.競技場について**

　(1)競技場の競走路及び助走路は全天候舗装である。

(2)スパイクピンは9mm以下とする。ただし，走高跳とやり投については12mm以下とする。ピンの直径は4mm以内、本数は11本以内とする。

**4.招集について**

(1)招集所は競技場メインスタンド下室内練習場（100mスタート地点付近）用器具横に設ける。

(2)招集開始時刻および招集完了時刻は、下記の通りとする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 予選 | 決勝 |
| 招集開始時刻 | 招集完了時刻 | 招集開始時刻 | 招集完了時刻 |
| トラックの部 | 30分前 | 20分前 | 25分前 | 15分前 |
| 5000m･10000m10000mW | ＊ | ＊ | 35分前 | ２5分前 |
| フィールドの部 | ＊ | ＊ | 60分前 | 40分前 |
| 棒高跳 | ＊ | ＊ | 70分前（女子）100分前（男子） | 60分前(女子)90分前(男子) |

　(注1)混成競技については第1日及び2日目の最初の種目のみ上記時刻にて招集所で行う。以降は混成競技者控室で確認を受け、当該競技役員の指示に従うこと。

 （注2）男子100m, 200m, 400mの各予選および800m, 1500m, 10000mについては、下記の通り実施する。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 種目 | 組 | 招集完了時刻 |  | 種目 | 組 | 招集完了時刻 |
|  | 1〜６ | 13 : 25 |  | 男子800m | 1〜5 | 9 : 45 |
| 男子100m | 7〜12 | 13 : 45 |  | 6〜10 | 10 : 05 |
| 13〜19 | 14 : 05 |  |  |  |  |
|  | 20〜26 | 14 : 25 |  | 種目 | 組 | 招集完了時刻 |
|  |  |  |  | 男子1500m | 1〜4 | 12 : 00 |
| 種目 | 組 | 招集完了時刻 |  | 5〜7 | 12 : 20 |
|  | 1〜7 | 12 : 30 |  |  |  |  |
| 男子200ｍ | 8〜14 | 12 : 50 |  | 種目 | 組 | 招集完了時刻 |
|  | 15〜21 | 13 : 10 |  |  | 1, 2 | 11 : 10 |
|  |  |  |  | 男子5000m | 3, 4 | 11 : 30 |
| 種目 | 組 | 招集完了時刻 |  | 5, 6 | 11 : 50 |
| 男子400ｍ | 1〜7 | 10 : 20 |  |  | 7 | 12 : 10 |
| 8〜14 | 10 : 40 |  |  |  |  |
|  |  |  |  | 種目 | 組 | 招集完了時刻 |
|  |  |  |  | 男子10000ｍ | 1 | 14 : 50 |
|  |  |  |  | 2 | 15 : 10 |

(3)招集完了時刻に遅れた場合は、棄権とみなし処理する。

(4)競技者は招集開始時刻に招集所で待機し、最終確認を受けること。その際、ナンバーカード、競技用靴、

　　衣類、持ち物等の点検を受けること。

　(5)競技者の棄権については、大会の権威の維持と運営の円滑化のために極力避けること。やむを得ず棄権

　　する場合は、棄権届に当該監督がサイン・捺印し、招集開始時刻までに招集所競技者係に提出すること。

(6)２種目を同時に兼ねる競技者は、招集開始時刻までに２種目同時出場届を競技者係に提出すること。

(7)予選において棄権者が多く９名以下になった場合は、予選を取り止め決勝の時刻に行う。

(8)競技者の入退場は、係員の指示に従うこと。

**５．競技について**

(1)トラック競技の予選レーンおよびフィールド競技の試技順はプログラム記載の順とする。

(2)トラック競技の決勝の組み合わせ、レーン順については主催者が公平に抽選し、決定する。

(3)ナンバーカードは、各自の登録番号を使用すること。

(4)トラック競技出場者は腰用レーンナンバー標識を使用する。ナンバーカードは招集時に受け取ること。

(5)ナンバーカードは胸背部に確実につけること。但し、跳躍競技に出場する競技者は胸または背のいずれかにつけるだけでもよい。

(6)スタートの合図は英語とする。不正スタートは、１回のみとし、その後の不正スタートした競技者は、すべて失格とする（規則162条7参照）。

(7)短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュ後も同じレーンの曲走路を走ること。

(8)トラック競技はすべて写真判定装置を使用する。

(9)5000m, 10000m, 3000mSC, 10000Wでは、気象状況に応じて、バックストレート側に給水を用意する。

(10)競技運営の都合上、男子10000mWは60分、女子10000mWは70分を越えて次の周回に入れない場合がある。

(11)走高跳のバーは、競技者が最後の1人になり優勝が決まるまでは次のとおりとする。但し、気象条件等により変更する場合もある。また、下記以外の公式練習の高さは、審判長が判断する。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 練習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 以降 |
| 男子走高跳（1組） | **1m75** | 1m80 | 1m85 | 1m90 | 1m95 | 2m00 | 以降　最後の１人になるまで３cm |
| 男子走高跳（2組） | **1m60** | 1m65 | 1m70 | 1m75 | 1m80 | 1m85 | 以降　１組の上げ方と同じ |
| 十種走高跳 | **1m55** | 1m60 | 1m65 | 1m70 | 1m75 | 1m80 | 以降　３cm |
| 十種棒高跳 | **2m40** | 2m50 | 2m60 | 2m70 | 2m80 | 2m90 | 以降　最後の１人になるまで10cm |
| 七種走高跳 | 当日決定する。 |
| 女子走高跳 | **1m30** | 1m35 | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 以降　最後の1人になるまで3cm |
| 男子棒高跳 | **3m10** | 3m20 | 3m40 | 3m60 | 3m80 | 4m00 | 以降　最後の１人になるまで10cm |
| 女子棒高跳 | 当日決定する。 |

 　　　(注）第1位決定の際のバーの上げ下げは、走高跳は2㎝，棒高跳は5㎝とする。

(12)棒高跳の支柱移動については競技開始前に跳躍場で競技役員に申請すること。

(13)三段跳の踏切板から砂場までの距離は、男子1組が12m、2組が11m、女子9mとする。

(14)跳躍、やり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマークを２箇所置くことができる。

　　マークは現地で受け取ること。それ以外は使用できない。

(15)男子の円盤投、ハンマー投げおよびやり投については、競技運営上、計測ラインを設ける場合がある (円盤投‐30m、ハンマー投‐40m、やり投‐50m)。その場合、計測ライン以下の試技は、中ペグとし予選3投終了後に計測を行う。それ以外は全投計測を行う。

(16)競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。投てき用具については検査の上、個人のものの使用を認める。投てき用具の検査は、競技開始120分前から90分前までに招集所で行う。なお、検査後は主催者側で預かる。

 (17)抗議は規則第146条により行うこと。競技結果または行為に関する抗議は、結果発表後予選は15分以内、決勝は30分以内に、競技者自身または監督から審判長へ口頭で行う。

**6.練習について**

(1)練習は原則として補助競技場及び投てき場を使用する。本競技場での投てき練習は禁止する。

(2)補助競技場では、トラック競技・砲丸投のみの練習とし、ハードル・スターティングブロック以外の用具の貸出はしない。

(3)投てき競技については招集完了後に役員の指示に従って競技場内で行うこと。

(4)練習は審判員の指示に従い、安全面に十分注意すること。

(5)メイン競技場・補助競技場・投てき場における練習使用可能時間は次のとおりである。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 会　場　/　日 | 10月18日（金） | 10月19日（土） | 10月20日（日） |
| メイン競技場 | 8:30~11:00（投てき以外使用可能） | 7:00～8:00（投てき以外使用可能） | 7:00～8:00（投てき以外使用可能） |
| 補助競技場 | 8:30～19:00 | 7:00～19:00 | 7:00～15:00 |
| 投てき場 | 8:30～17:00（種目別に振り分け） | 7:00～17:00（種目別に振り分け） | 7:00～10:40（種目別に振り分け） |
| 雨天練習場 | 8:30～18:00（短・H・幅・三段） | 7:00～18:00（短・H・幅・三段） | 7:00～14:30（短・H・幅・三段） |

 (注）砲丸投の練習は補助競技場を使用すること。また、メイン競技場の芝生には立ち入らないこと。

(6)メイン競技場及び補助競技場では逆走、チューブ・牽引ロープ等の用具を使った練習は危険防止のため禁止とする。また、レーン上にカラーコーン等を置いての練習も禁止とする。

◎メイン競技場

◆1～2レーン：中長距離　◆3～7レーン：短距離　◆8～9レーン：ハードル

◎補助競技場

■1～2レーン：中長距離　■9～10レーン（ホームストレートのみ）；100mH、110mH

　■3～8レーン：短距離（スタートダッシュはホームストレートのスタート地点）

◎雨天練習場

 ◇1～2レーン：ハードル　◇3～4レーン：短距離　◇5～6レーン：走幅跳・三段跳

(7) 投てき種目及び棒高跳の練習の使用可能時間は安全のため下記のとおりとする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **投てき場** |  | **砲丸投(補助競技場)** |
| 18日(金) | 男子ハンマー投 | 8:00~11:10 | 18日(金) |  | 8:00~19:00 |
| 女子ハンマー投 | 11:10～13:40 | 19日(土) | 女子 | 7:00～14:10 |
| 円盤投 | 13:40～15:30 | 男子 | 14:10～19:00 |
| やり投 | 15:30～17:00 | 20日(日) | 男子 | 7:00～8:10 |
| 19日(金) | 男子円盤投 | 7:00～12:40 |  |
| 女子円盤投 | 12:40～15:40 | 　　　　　　　　 |
| やり投げ | 15:40～17:00 | **棒高跳（メイン）** |
| 20日(日) | 女子やり投 | 7:00～8:10 | 18日(金) | 　 | 8:30～11:00 |
| 男子やり投 | 8:10～10:40 | 19日(土) | 女子 | 7:00～8:00 |
|  |  |  |  | 20日(日) | 男子 | 7:00～8:00 |

 (注)上記の時間外の使用は認めない。

**7. その他**

(1)表彰は各種目3位まで行う。該当者（代理可）は競技終了後、所属大学のユニフォーム（上のみ；下は大学のジャージ）を着用して正面エントランスに集合すること。

(2)男子最優秀選手賞（高木賞）、女子最優秀選手賞（久保田賞）をそれぞれ1名、最終日競技終了後に授与する。

(3)競技中の負傷については医務員が応急処置を行うが、その後の処置は各校で行うこと。また、学連が用意するトレーナーステーションについては大会2日目(19日)、3日目(20日)のみの対応となる。

(4)出場する競技者・補助員以外は競技場内（トラックと同一面のエリアを含む）に立ち入らないこと。

(5)応援はスタンドで行い、競技場内や雨天走路及びメインスタンドでの集団応援は禁止する。

(6)ビデオ装置、ラジオ、携帯電話、その他通信機器、ヘッドフォン等は競技場内に持ち込んではいけない。

(7)競技場の中に商品名のついた衣類・バック類を持ち込む場合は、「競技会における広告及び展示物に関する規定」（2011年3月修正）のとおりとする。以下、一部を抜粋する。

|  |
| --- |
| a.ウインドブレーカー・Ｔシャツ・トレーナー類①製造会社名／ロゴ：右胸または左胸1ヶ所、文字の高さ4cm以内、トータルのロゴの高さ5cm以内で面積40cm2以内の長方形とする。b.下半身のタイツ等　製造会社名／ロゴ：1ヶ所、文字の高さ4cm以内、面積20cm2以内とする。c. ソックス類　　 　製造会社名／ロゴ：1ヶ所、文字の高さ4cm以内、面積6cm2以内とする。d. バック類 　　　　製造会社名／ロゴ：2ヶ所、面積25cm2以内とする。e. その他の衣類（帽子、ヘッドバンド、サングラス、手袋、リストバンドなど）製造会社名／ロゴ：衣類（製品）1つにつき1ヶ所、面積6cm2以内とする。f. 競技者の衣類が本規程に適合しない場合、それを覆うか無印の衣類を身につけること。 |

(8)テントの設営は、正面スタンドは禁止とする。横断幕の設置についてメインスタンドは最上段のみ、サイド及びバックスタンドは植え込みのみ、のぼり等はサイドスタンドの手すり部分とし、競技進行、観客の支障にならないよう配慮すること。競技役員から指摘された場合は、その指示に従うこと。

(9)各校ベンチの場所取りは、観客へも配慮し、必要以上に広い面積を独占しないこと。荷物等の放置による盗難等への対応は、主催、主管及び競技場側は関与できないので注意すること。

(10)更衣室はメインスタンド下にある。荷物は各自で管理すること。紛失など万が一のことがあっても、主催者側は一切の責任を持たない。

(11)OB, OGの出場は認めない。

(12)ゴミは原則として各大学で必ず持ち帰ること。

(13)競技結果速報は、競技場正面右側の記録表示場所に掲示する。

(14)記録証明書を希望する競技者は、本大会本部付近で記録証発行所を設置するので、「記録証明書交付願」

に必要事項を記入し、300円を添えて申し込むこと。

(15)開門及び閉門時刻について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　 | 陸上競技場 | 補助競技場 |
| 第1日　10月18日 | 8:30～19:00　 | 8:00～19:00 |
| 第2日　10月19日 | 7:00～19:00 | 7:00～19:00 |
| 第3日　10月20日 | 7:00～15:00 | 7:00～15:00 |